

ISSN 1340-6302

# Journal of Traditional Medicines

## 和漢医薬学雑誌

Vol.20, Supplement, 2003

Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU

和漢医薬学会

# 和漢

## 第20回 和漢医薬学会大会

要|旨|集

会 期 平成15年8月30日<sup>土</sup>・31日<sup>日</sup>

会 場 熊本市民会館  
熊本市国際交流会館

会 長 宮田 健  
熊本大学大学院 医学薬学研究部

主 催 和漢医薬学会

後 援 熊本県  
熊本市  
熊本県薬剤師会  
熊本県医師会  
熊本県看護協会  
国際保健医療交流センター  
日本薬学会  
日本薬理学会  
熊本大学薬学部同窓会

# 大会日程

8月

30日  
SAT

	熊本市市民会館 <b>A 大ホール</b>	<b>B 大会議室</b>	熊本市国際交流会館 <b>C ホール</b>	熊本市市民会館 ポスター会場
9:00	9:00~11:00 <b>シンポジウム ①</b> 最新の評価法で見る 和漢薬の中樞効果 オーガナイザー／藤原 道弘・渡辺 泰雄	9:00~11:00 <b>シンポジウム ②</b> 和漢薬と西洋薬の 相互作用 オーガナイザー／江頭 洋祐・渡部 烈	9:00~11:00 <b>シンポジウム ③</b> 21世紀の「医食同源」 —食品薬学と予防医学 オーガナイザー／堀内 正公・野原 稔弘	8:30~10:30 ポスター掲示
10:00				10:30~18:00 ポスター展示
11:00	11:00~11:40 ラウンドテーブル・ディスカッション 伝統医薬の創造的継承 司会／小橋 恭一			
12:00	11:40~12:20 招待講演 Shaw T. Chen, M.D., Ph.D., 座長：宮田 健 ↑ Development of Oriental Herbal Medicines as New Therapies: U.S. Regulatory Perspectives	12:20~13:10 <b>ランチョンセミナー ①</b> 大建中湯の新たなる挑戦 —トランスレーショナルリサーチの展開— 座長：須古 博信 共催：(株)ツムラ	12:20~13:10 <b>評議員会</b> 市民会館 第5・6会議室	
13:00			13:30~14:30 市民公開講座開場・受付	13:10~14:10 ポスター討論
14:00	総会 14:10~14:30 14:30~16:00		14:30~17:30	ポスター展示
15:00	学会賞・学会奨励賞 授与式 受賞講演 座長：宮田 健	15:30~18:00	市民公開講座 サプリメント： 効能と安全性を考える オーガナイザー／野原 稔弘 長尾 和治 野中 源一郎	
16:00	16:00~18:00 <b>シンポジウム ④</b> 和漢薬による 糖尿病病態の改善 オーガナイザー／田代 眞一・丁 宗鐵	和漢医薬学生・ 若い研究者の集い これからの和漢薬研究と 臨床の課題 オーガナイザー／坂田 研明・吉富 誠		
17:00				
18:00				
18:30~	懇 親 会 (於 熊本ホテルキャッスル)			

8月

31日  
SUN

	熊本市市民会館 <b>A 大ホール</b>	<b>B 大会議室</b>	熊本市国際交流会館 <b>C ホール</b>	熊本市市民会館 ポスター会場
9:00	<p>9:20~10:00</p> <p><b>会長講演</b> 宮田 健 和漢薬理学の新しい展開 —Strategies &amp; Problems 座長：渡辺 裕司</p>			9:00~14:30 ポスター展示
10:00	<p>10:00~11:00</p> <p><b>特別講演 1</b> 長尾 拓 医薬のレギュラトリーサイエンス 座長：野村 靖幸</p>			
11:00	<p>11:00~12:00</p> <p><b>特別講演 2</b> 山村 研一 ゲノム医学および創薬における 遺伝子改変マウスの位置づけ 座長：寺澤 捷年</p>			
12:00		<p>12:00~13:00</p> <p><b>ランチョンセミナー 2</b> 老齡マウスを通して見えてきた和漢薬の効果 座長：田代 真一 共催：小太郎漢方製薬(株)</p>		
13:00				13:10~14:10 ポスター討論
14:00	<p>14:20~16:20</p> <p><b>シンポジウム 5</b> 和漢薬から創薬へ</p>	<p>14:20~16:20</p> <p><b>シンポジウム 6</b> 和漢薬資源の 現状と展望</p>	<p>14:20~16:20</p> <p><b>シンポジウム 7</b> 難治性疾患の 和漢薬治療 —強皮症をめぐる—</p>	14:30~16:30
15:00	オーガナイザー／山田 陽城・永井 博式	オーガナイザー／鳥居塚和生・雨谷 栄	オーガナイザー／三浦 忠道・小暮 敏明	ポスター撤去
16:00				

# プログラム

30⊕

招待講演

A会場 11:40～12:20

座長/宮田 健 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)

## Development of Oriental Herbal Medicines as New Therapies: U.S. Regulatory Perspectives

US FDA

Shaw T. Chen, M.D., Ph.D.

31⊕

特別講演

A会場 10:00～12:00

特別講演 1 10:00～11:00

座長/野村 靖幸 (北海道大学大学院・薬学研究科)

## 医薬のレギュラトリーサイエンス

国立医薬品食品衛生研究所

長尾 拓

特別講演 2 11:00～12:00

座長/寺澤 捷年 (富山医科薬科大学)

## ゲノム医学および創薬における遺伝子改変マウスの位置づけ

熊本大学副学長、熊本大学・発生医学研究センター 山村 研一

31⊕

会長講演

A会場 9:20～10:00

座長/渡辺 裕司 (富山医科薬科大学・和漢薬研究所)

## 和漢薬理学の新しい展開—Strategies & Problems—

熊本大学大学院・医学薬学研究部

宮田 健

30⊕

授与式・受賞講演

A会場 14:30～16:00

座長／宮田 健 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)

14:40～15:00

## 学会奨励賞—糖尿病性腎症における桂枝茯苓丸の有用性

富山医科薬科大学・医学部・和漢診療学講座

中川 孝子

15:00～15:20

## 学会奨励賞—瘀血病態と自律神経機能との関連性について

富山医科薬科大学・和漢薬研究所・漢方診断学部門・客員教授

柴原 直利

15:20～16:00

## 学会賞—アレルギー性炎症の和漢薬による制御

岐阜薬科大学・薬理学講座・教授

永井 博式

30⊕

ラウンドテーブルディスカッション

A会場 11:00～11:40

## 伝統医薬の創造的継承

司会 前理事長

小橋 恭一

基礎系 名城大学・薬学部

荻原 幸夫

// 富山医科薬科大学・和漢薬研究所

済木 育夫

臨床系 北里研究所・東洋医学研究所

花輪 壽彦

// 飯塚病院・東洋医学センター・漢方診療科

三渚 忠道

30⊕・31⊕

シンポジウム

シンポジウム Ⅰ A会場 30⊕ 9:00～11:00

## 最新の評価法で見る和漢薬の中樞効果

オーガナイザー／藤原 道弘 (福岡大学・薬学部)  
渡辺 泰雄 (東京医科大学)

9:00～9:10

### 1) 培養脳細胞を用いた和漢薬の脳保護効果の評価にグリア細胞の存在は必要か?

東京医科大学・薬理学教室

渡辺 泰雄

9:10～9:28

### 2) 脳細胞アポトーシスによる記憶障害モデルを用いた和漢薬の作用評価

福岡大学・薬学部・臨床疾患薬理学教室

藤原 道弘

9:28～9:46

3) 慢性ストレスによるうつ病様病態に対する柴胡加竜骨牡蛎湯の効果

株式会社 ツムラ・研究本部・医薬評価研究所

溝口 和臣

9:46～10:04

4) 受容体結合測定法を用いた天然物の脳内受容体結合活性の評価

静岡県立大学・薬学部・COE21・薬剤学教室

山田 静雄

10:04～10:22

5) 神経解剖学的解析を基盤とした和漢薬の鎮痛効果に対する評価

東京医科大学・解剖学第二講座

山田 仁三

10:22～10:40

6) 脳血管障害と釣藤散

富山医科薬科大学・医学部・和漢診療学講座

嶋田 豊

10:40～11:00

総合討論

---

シンポジウム **2** B会場 30Ⓢ 9:00～11:00

## 和漢薬と西洋薬の相互作用

オーガナイザー／江頭 洋祐 (九州看護福祉大学・看護学科)  
渡部 烈 (富山医科薬科大学・和漢薬研究所、  
東京薬科大学・薬学部)

9:00～9:20

1) 臨床東洋医学研究の立場から 日常臨床における認識と限界

九州看護福祉大学・看護学科

江頭 洋祐

9:20～9:40

2) 薬害研究の立場から 薬物代謝酵素の不可逆的不活性化の重大性

富山医科薬科大学・和漢薬研究所、東京薬科大学・薬学部

渡部 烈

9:40～10:00

3) 薬物代謝・動態学研究の立場から 和漢薬によるP450の誘導と阻害

東北大学大学院・薬学研究科・薬物動態学

山添 康

10:00～10:20

4) 臨床薬理学研究の立場から 臨床上意義のある相互作用とは?

熊本大学大学院・医学薬学研究部・薬物治療学

石崎 高志

10:20～11:00

総合討論

---

シンポジウム **3** C会場 30Ⓢ 9:00～11:00

## 21世紀の「医食同源」—食品薬学と予防医学

オーガナイザー／堀内 正公 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)  
野原 稔弘 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)

9:00～9:05

はじめに

熊本大学大学院・医学薬学研究部・天然薬物学分野

野原 稔弘

9:05～9:30

1) アントシアニンによる抗動脈硬化作用

熊本大学大学院・医学薬学研究部・病態生化学分野

堀内 正公

9:30～9:45

2) トマトの新規ステロイド成分と機能性

熊本大学大学院・医学薬学研究部・天然薬物学分野

藤原 章雄

9:45～10:10

3) プロポリスの血圧降下およびアポトーシス誘導化作用

アピ株式会社・総合研究所

三島 敏

10:10～10:35

4) 香辛料に含まれる抗アレルギー、抗肥満および胃保護作用成分

京都薬科大学・生薬学教室

吉川 雅之

10:35～11:00

5) 隣リパーゼ阻害作用のある機能性物質について

熊本県立大学・環境共生学部

奥田 拓道

---

シンポジウム **4** A会場 30<sup>+</sup> 16:00～18:00

## 和漢薬による糖尿病病態の改善

オーガナイザー／田代 眞一 (昭和薬科大学)  
丁 宗鐵 (順天堂大学・医学部)

### 基礎

16:00～16:20

1) ストレプトゾトシン(STZ)誘発糖尿病ラットにおける八味地黄丸の効果

順天堂大学・医学部

彰 一祐

16:20～16:40

2) 有痛性神経障害と漢方 - 糖尿病モデル動物を用いた牛車腎気丸の作用機序の解明 -

星薬科大学・薬物治療学教室

亀井 淳三

16:40～16:47

3) 各種糖尿病モデルマウスにおける漢方薬の効果

順天堂大学・医学部・医史学研究室

丁 宗鐵

### 臨床

16:47～17:07

1) 糖尿病患者のインスリン抵抗性に及ぼす牛車腎気丸の効果

名古屋大学大学院・医学系研究科・健康・スポーツ医学 佐藤 祐造

17:07～17:27

2) 耐糖能異常合併肥満症患者に対する防風通聖散のインスリン抵抗性改善効果

京都府立医科大学大学院・医学研究科・内分泌機能制御学 日置智津子

17:27～17:47

3) 駆瘀血剤の糖尿病合併症進展抑制効果に関する臨床的検討

富山医科薬科大学・医学部・和漢診療学講座

引網 宏彰

17:47～18:00

総合討論



シンポジウム 5 A会場 31⑩ 14:20～16:20

## 和漢薬から創薬へ

オーガナイザー／山田 陽城 (北里大学・北里生命科学研究所)  
永井 博弼 (岐阜薬科大学)

14:20～14:40

### 1) 紅豆杉の生物活性成分の探索

富山医科薬科大学・和漢薬研究所

門田 重利

14:40～15:00

### 2) 和漢薬からの抗アレルギー薬開発の試み

岐阜薬科大学・薬理学教室

稲垣 直樹

15:00～15:20

### 3) 和漢薬からのワクチンアジュバントの開発の試み

北里大学・北里生命科学研究所

永井 隆之

15:20～15:40

### 4) グリチルリチン—慢性呼吸器疾患治療薬開発に向けた基礎研究

熊本大学大学院・医学薬学研究部・薬物活性学分野

儀濱洋一郎

15:40～16:00

### 5) 伝統医薬から新薬を探索する試み

高知県立牧野植物園

秋山 敏行

16:00～16:20

総合討論

シンポジウム 6 B会場 31⑩ 14:20～16:20

## 和漢薬資源の現状と展望

オーガナイザー／鳥居塚和生 (昭和大学・薬学部)  
雨谷 栄 (株式会社 ツムラ・生薬資源研究所)

14:20～14:40

### 1) 薬用植物の栽培と資源保護に関する最近の話題

国立医薬品食品衛生研究所

合田 幸広

14:40～15:00

### 2) 薬用植物の分子系統学的解析～生薬の同定～品質評価

富山医科薬科大学・和漢薬研究所・薬効解析センター

小松かつ子

15:00～15:20

### 3) 中国における環境保護と生薬資源

株式会社 ツムラ・生薬・資源研究所

寺林 進

15:20～15:40

### 4) 和漢薬資源の確保に向けて

金沢大学・薬学部・資源生薬学研究室(薬用植物園)

御影 雅幸

15:40～16:00

### 5) 和漢薬資源植物の調査、保存、生産に関わって—黄連、竹節人参、当帰など—

広島大学・医学部・附属薬用植物園

神田 博史

16:00～16:20

総合討論

シンポジウム **7** C会場 **31**① 14:20～16:20

## 難治性疾患の和漢薬治療—強皮症をめぐる—

オーガナイザー 三瀧 忠道 (飯塚病院・東洋医学センター・漢方診療科)  
小暮 敏明 (群馬大学・医学部・統合和漢診療学講座)

14:20～14:40

### 1) 強皮症の病態と治療

千葉大学医学研究院・細胞治療学・第2内科

倉沢 和宏

14:40～14:55

### 2) 和漢薬治療からみた強皮症の臨床報告

富山県立中央病院・和漢診療科

藤永 洋

14:55～15:10

### 3) 強皮症に対する漢方治療の臨床的効果—ADLを中心として—

ももち東洋クリニック

古田 一史

15:10～15:25

### 4) 皮膚科領域からみた全身性強皮症(SSc)の病態と和漢薬治療の現状

県立岐阜病院・皮膚科

前田 学

15:25～15:40

### 5) 強皮症に伴う間質性肺炎(PSS-IP)

北海道漢方医学センター・北大前クリニック

本間 行彦

15:40～16:20

総合討論

**30**⊕

和漢医薬学生・若い研究者の集い

**B会場** 15:30～18:00

## これからの和漢薬研究と臨床の課題

オーガナイザー／坂田 研明 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)  
吉富 誠 (公立菊池養生園診療所)

15:30～15:40

### はじめに

公立菊池養生園診療所

吉富 誠

15:40～16:20

### 1) 白血球の自律神経支配—和漢薬の病気を治すメカニズム

新潟大学大学院・医歯学総合研究科・免疫学・医動物学分野

安保 徹

16:20～17:00

### 2) 臨床疫学を用いた新しい漢方臨床のモデル

灰本クリニック

灰本 元

17:00～17:30

### 3) 和漢薬研究によって拓く新たなバイオサイエンス・フィールド

熊本大学大学院・医学薬学研究部・薬物活性学分野

磯濱洋一郎

17:30～18:00

総合討論

30⊕

市民公開講座

C会場 14:30~17:30

## サプリメント: 効能と安全性を考える

オーガナイザー/野原 稔弘 (熊本大学大学院・医学薬学研究部)

### 1) 体質に合った食べ方

熊本市立熊本市民病院・顧問

長尾 和治

### 2) 老化と生活習慣病予防食品について

ウサイエン製薬株式会社・代表取締役

野中源一郎

30⊕・31⊕

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー ① B会場 30⊕ 12:20~13:10

座長/須古 博信 (済生会熊本病院・院長)

## 大建中湯の新たな挑戦 —トランスレーショナルリサーチの展開—

—外科の立場から

大建中湯の消化管運動亢進効果とその作用機序の基礎的検討

講師/柴田 近 (東北大学大学院・医学系研究科・生体調節外科学)

—内科の立場から

消化管運動障害に対する大建中湯の効果

講師/尾高 健夫 (千葉大学大学院・医学研究院・腫瘍内科学)

共催: 株式会社 ツムラ

ランチョンセミナー ② B会場 31⊕ 12:00~13:00

座長/田代 眞一 (昭和薬科大学・病態科学教室)

## 老齡マウスを通して見えてきた和漢薬の効果

講師/高木 康博 (大阪府立公衆衛生研究所)

共催: 小太郎漢方製薬株式会社

優秀発表賞

地野 充時	富山医科薬科大学医学部和漢診療学、和漢薬研究所	Th1/Th2バランスに及ぼす新しい和漢薬製剤(富山オリジナルブランド)の効果
小野 裕香	名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野	関節リウマチに対する漢方方剤の評価ー関節破壊に対する甘草附子湯の効果ー
伊藤 直樹	北里研究所東洋医学総合研究所臨床研究部	気剤の抗うつ様効果の検討ー香蘇散料の抗うつ様作用メカニズムー
横山 浩一	富山医科薬科大学医学部和漢診療学講座	釣藤散の一過性脳虚血モデルにおける神経細胞保護作用の検討
龍 伸和	名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野	SAGE法を用いた漢方方剤投与ラット肝の包括的遺伝子発現解析
渡辺 賢治	慶應義塾大学医学部東洋医学講座	漢方薬配糖体成分の吸収におよぼす抗生物質併用投与の影響